

國學院大學学術情報リポジトリ

編集にあたって

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松本, 久史, Matsumoto, Hisashi メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/1696

編集にあたって

研究開発推進機構は、國學院大學の建学の精神を闡明・具現化し、本学における教育研究活動の重点的推進とその成果発信の拠点となるべく、従来の日本文化研究所を発展的に改組して昨年度（平成十九年度）発足した教育研究機関である。本機構は総合・学際的な日本文化学としての「国学」的方法による共同研究活動と、その成果の内外への発信を積極的に行うことを使命し、本紀要はその役割の一翼を担うものである。

第一号となる本号では、本機構の伝統文化リサーチセンターが推進する文部科学省私立大学高度化推進事業（オーブン・リサーチ・センター整備事業）に選定された「モノと心に学ぶ伝統の知恵と実践」研究事業から、平成二十年十月十八日開催の藤澤彰芝浦工業大学教授（本機構客員教授）による、公開学術講演会「神社本殿の建築的特質」の講演録を掲載した。

また、本学及び本機構の原点として、「近世・近代における国学の展開」というテーマを設定して、四本の論考、翻刻一本を掲載した。国学に関する研究は、本学の学問的基盤そのものであるとともに、本機構の前身である日本文化研究所が「設立の趣旨」に沿って行い続けてきた、研究課題の中心の一つである。こうした経緯に鑑み、本機構のもとに再編された日本文化研究所においても、恒常的な研究部門として「神道・国学研究部門」を設置している。当部門の事業である「近世国学の靈魂観をめぐるテキストと実践の研究―靈祭・靈社・神葬祭―」の研究活動を中心に、さらに日本文化研究所が行ってきた井上毅研究と明治国学研究の歴史を取り上げた論考を一本加え、前期国学から明治国学までを通して編集した次第である。執筆者は本機構の講師・助教および研究補助員が担当したが、これも日本文化研究所時代から発展的に継承している若手研究者育成の充実という趣旨に則してのことである。（松本久史 記）